

## 避難に役立つ標識を設置します ～鶴岡市「まるごと まちごと ハザードマップ」を推進～

酒田河川国道事務所では、洪水に対する自主防災組織力向上の取組みとして、「まるごと まちごと ハザードマップ」を鶴岡市斎地区、鶴岡市と連携し進めて参りました。

河川がはん濫した際、浸水する深さや避難所までの誘導が現地に表示されることで、迅速な避難行動に繋がることが期待されます。

このたび、鶴岡市斎地区代表者と町歩きを行い、洪水時の避難に役立つ標識を設置します。

- 参加者：酒田河川国道事務所、地区代表、鶴岡市
- 集合場所：斎藤川原公民館（6月18日 10時）  
（住所：鶴岡市斎藤川原字林俣地内）
- 設置箇所：斎藤川原公民館 および 周辺電柱 など  
斎藤川原地区完了後に、遠賀原地区、伊勢横内地区、勝福寺地区、我老林地区でも順次設置作業を行います。

発表記者会：酒田記者クラブ、鶴岡記者会

### 問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 酒田河川国道事務所

住所：酒田市上安町1-2-1 TEL:0234(27)3331

副所長(河川) 阿部 富男(あべ とみお) 内線:204

調査第一課長 嶋原 吉隆 (しぎはら よしたか) 内線:351

【場所：齋藤川原地区】



## ①まるごと まちごと ハザードマップとは

### ◇地域防災力の向上

地元説明会や設置場所の検討に地元住民に参加してもらうことで、自主防災組織の活性化および参画したことによる防災意識高揚が図られ、防災力の向上が期待される。

### ◇標識設置による効果

日頃、浸水深や避難所等洪水に関する情報を洪水関連標識として生活空間である「まちなか」に表示し、緊急時に迅速な避難行動へ繋がる効果が期待される。

#### 地元説明会



#### 町歩き



取り組み例

#### 標識設置



## ②まるごと まちごと ハザードマップの標識設置例

日常時の洪水への意識を高めるとともに浸水深・避難所等の知識の普及を図り、発災時には安全かつスムーズな避難行動に繋げ、洪水による被害を最小限にとどめることを目的として、浸水深や避難所等洪水に関する情報を洪水関連標識として生活空間である「まちなか」に表示するものです。

#### まるごとまちごとハザードマップの主な図記号



洪水

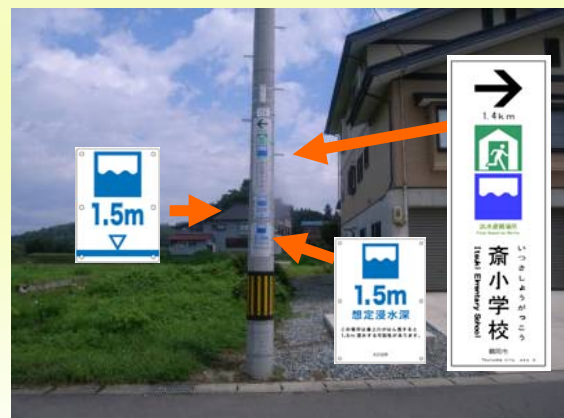


避難所



堤防

〈JIS Z 8210〉



標識の設置イメージ